

# みやぎ観光回復戦略に掲げた取組の進捗状況について（大崎圏域）

第4章 県内各圏域の施策の方向性 (大崎圏域) 回復戦略P19	進 捗 状 況	【第5章 観光需要の回復フェーズに応じた具体的な取組】
<b>(1) 宿泊施設が「安心」と認識されることへの対策</b>		
○安心ステッカー貼付店舗・施設への確認や指導【短期】	宿泊施設に対する相談・確認等の実施に向けて、感染症の専門家などの関係者と調整しているところだが、ワクチンの導入など新型コロナウイルス感染の状況や環境が日々変化しているところであり、事業効果が発揮される適期を見極めながら、実現に向けて作業を進めている。	大崎圏域宿泊施設等安心醸成事業（回復戦略P25）
○徹底したコロナ対策事業と支援【短期】		
○他県よりも「安心」の施策をとっていることのアピール【短期】		
<b>(2) 第二波に対応できる新しいビジネスモデルの推進</b>		
○旅館等をWEB会議の会場として提供（ワーケーションの推進含む）【短期】	ワーケーションについては、企業と受入側のマッチングを実施しているほか、一部の市町では積極的な誘致や補助制度の導入も行っている。加美町では、やくらいコテージで数社に対し体験モデル事業を実施している。	宿泊施設等における新たなビジネスモデル推進事業（同P36）
○旅館等の地域内利用の促進【短期】	新型コロナウイルス感染症の感染者数が高止まりしているところであり、実施に向けた検討ができる状況にないと考えている。今後、感染拡大が収束した後に、旅館関係者等との意見交換を行い、事業を進める予定である。	大崎地域飲食店等支援事業（同P31）
○旅館等の平日利用の推進【短期】		若年層誘客促進事業（同P32）
<b>(3) 地域が一体となって取組む観光振興の推進</b>		
○観光気運醸成に係る取組【短期】	今年度、観光関係団体と連携し、密を回避した雑誌・WEBを活用した観光PRや、コロナ対策の研修会を実施しており、今後も継続的に実施する。食関連イベントは、来年度実施に向けて、関係者と検討中である。	食関連イベント支援事業（同P32）
○教育旅行等向け一元的相談窓口の設置【短期】	教育旅行の受入対応については、今月に関係者を集めた意見交換会を開催し、地域としての対応について検討を始める。	
○大規模な会議等の誘致【中長期】	来年度以降、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ、全国規模の会議開催の状況を把握しながら、誘致に向けた取組を進める。	